

デジタル放送技術セミナー 2011

～マルチメディア放送とホワイトスペース（エリア・ワンセグ）の現状～

- 主催：放送システム専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約70名

概要

放送システム専門委員会（委員長：河野健一 氏／日本無線（株））では、地上波放送がアナログ放送からデジタル放送へ移行されたことを機に、マルチメディア放送（受託側、委託側）、ホワイトスペースの利活用に向けた最新の動向、サービス検証実験の現状等について、放送通信環境の大変革をもたらそうとしている最新技術動向をテーマとして取り上げ、当該分野の第一人者の方を講師としてお招きし、「マルチメディア放送とホワイトスペース（エリア・ワンセグ）の現状」と題

して、下記のとおり「デジタル放送技術セミナー」を開催いたしました。

関係企業・団体や放送事業者の方々など、多方面から約70名の参加を頂き、成功裡に終えることができました。厚く御礼を申し上げます。

また、ご多忙のなか、快くお引き受け頂きました講師の方々を始め、ご支援・ご協力を頂きました関係各位に改めて厚く御礼を申し上げます。

プログラム

○「モバキャスの最新動向について」

小笠原光一 氏（（株）ジャパン・モバイル キャスティング 企画部長）

○「エリアワンセグシステムの利用イメージとサービス提供技術」

織田稔之 氏（（株）日立製作所 情報・通信システム社 経営戦略室 サービス基盤事業担当部長）

○「ホワイトスペースの利活用に向けたエリア放送実証実験の報告」

本間康文 氏（（株）TBSテレビ 技術局 担当局長）

